

JET からの手紙

真の日本を世界へ

兵庫県養父市産業環境部商工観光課 国際交流員
Cesar Romero (セサル・ロメロ)

私は親の仕事の関係で中学卒業まで関東に住んでいました。その時のことを振り返る度に思うのが、日本で生活した時期が、自分を形作る上で最も重要で、多大な影響を受けた時期であったということです。そのため、私にとって JET プログラムは、日本という「故郷 (HOME)」へ戻り、日本文化との再会、日本の地域社会へ貢献する機会を与えてくれる唯一無二の経験となっています。

私は兵庫県北部の中央に位置する養父市に任用されました。かつて日本に暮らしていた際は首都圏での生活であったため、古くからの伝統文化が受け継がれた自然豊かな山間地である養父市での暮らしは、とても新鮮に感じ



重要文化財名草神社の三重塔。
実は出雲大社からの贈り物！
© 富田有咲

じました。雄大で緑深い大自然に抱かれる養父市は、日本らしい落ち着いた場所です。養父市には兵庫県最高峰の山である氷ノ山 (ひょうのせん) や名勝として選定された天滝があり、水質が良好な河川にも恵まれています。冬季スポーツや林間学校・合宿といった近畿のアウトドアの聖地

としても大人気です。他にも、日本遺産認定鉱山 (明延・中瀬)、美しい日本の原風景である別宮の棚田、日本農業遺産である但馬牛や朝倉山椒といった全国に誇るグルメも揃っている魅力的な地域です。大阪や京都、神戸といった都市圏からも車で約2時間であり、美しい自然景観を楽しむことができる地域です。

養父市の CIR となってからの2年半、私は商工観光課で主にインバウンド (訪日客) 観光を促進する取り組み



別宮の棚田と背景にそびえたつ氷ノ山の劇的な風景
© 宮田敏幸

を行っています。市内の魅力や観光地の情報発信として SNS を活用するだけでなく、市が制作しているテレビ番組にも出演しています。また、イベントの PR、インバウンド受入環境整備などを担いながら、あらゆる機会を生かして養父市を宣伝しています。また、市内周遊ツアーを企画し、一般参加者から意見をいただくモニターツアーも実施しています。市内の事業者とかかわりながら、インバウンドに対しての不安に耳を傾け、共に解決策を探すことで外国人旅行者が楽しく快適に滞在できる



農村歌舞伎の伝統を受け継ぐせきのみや子ども歌舞伎



国家戦略特区の養父市での農業は農村文化の源そのもの。高品質でおいしい食材や特産品が盛沢山！



CIR 番組コーナーやぶらぶツーリズムでパワースポットを紹介観光地にしようと心掛けています。

訪日外国人観光客の受け入れ環境は、単純にメニューや表示を多言語化するだけで整うものではありません。環境整備に欠かせない要素の一つは、異文化理解だと思っています。地域の活性化につながる持続可能な観光を目指すためには、事業者だけでなく地域住民の理解も必要です。そこで、カナダとコロンビアの文化や習慣を楽しく紹介する料理教室やダンスイベント、学校訪問や英会話教室、大使館からの協力を得た本格的な外交関係の講座まで、多面的・多角的な国際交流活動も進めています。

また、私には、自国と日本の懸け橋になることと同じくらいに重視してきたことがあります。それはアイデンティティの複雑さと葛藤、在住外国人が抱える問題について、日本で育った私の体験を活かして語ることです。さまざまな行事を通じて世界の文化に興味を持ってもらい、個人レベルだけではなくコミュニティレベルで、「在住外国人が直面する課題に対して何ができるか」というテーマを深く考えるきっかけになってほしいと願いながら行っています。特に子どもたちには、私が体験した悩みや嫌だと感じたこと、自分の居場所を見つけようと異文化間を長い間さまよったことなどを伝えています。現

在、日本に住む海外にルーツを持つ多くの子ども達の思いを理解するだけでなく、自分らしさを大切にし、一人ひとりの「違い」である個性を認めることの重要性を伝えられるよう努めています。

日本には、まだ広く知られていない美しい場所が数え切れないほどあります。養父市に来てから、地方ならではのユニークな生活や体験ができ、大変嬉しく思っています。CIR として、観光客だけでなく、他の JET 参加者や日本人にも地方のメリットを伝え続けたいです。また、養父市が異文化理解を通じて持続可能な観光地となれば、住民の方々が自分たちの住む養父市にさらに愛着を持つことができると思います。JET プログラムが目的とする、よりインクルーシブな日本社会の実現に向けて、少しでも貢献できるよう、養父市に滞在する間頑張り続けたいと思います。



日本・コロンビアの外交関係を記念する国際理解ふれあい講座



養父市訪日観光客向けインスタグラム

プロフィール



Cesar Romero (セサル・ロメロ)

コロンビア生まれ、幼少期は日本で育ち、その後カナダへ移住。現在は CIR として日本に戻り、養父市に在住。カナダの首都オタワ大学で政治学専攻とドイツ語圏言語文化学副専攻。JET 参加前は外交関係に携わっていた。CIR として、成長期の体験をできるだけ多くの人に広げるため、JET プログラムに参加。趣味はサッカー、登山、旅行、異文化交流、ダンスなどたくさん！